



ひまわり

議会だより

No.30

2017.7.18

発行編集：日之影町議会編集委員会



218

宮崎218号平底トンネル新設工事安全祈願祭

平成29年5月12日

「未来を背負い、夢に向かって育つ子ども達の鉄入れ式！」

専決
一意 股交
見 分
事 事
項 問
会 換
会 問

□□□□ P4
□□□□ P5
□□□□ P7
□□□□ P9

6月定例議会

第2回定例会は、6月8日に開会し所管事項調査報告（経済建設常任委員会・総務文教常任委員会共に書面にて）行政報告2件・報告1件・同意8件・承認10件・議案3件は原案のとおり可決した。

一般質問には4名が登壇し、町長・教育長に質問、6月18日に閉会した。

平成29年度日之影町 一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出補正 1,650万円の追加
補正後の総額 46億3,150万円

◆今回の補正は、職員の人事異動に伴う人件費の補正、特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の改正に伴う報酬額の補正、地域力創造アドバイザー委託事業、コミュニティ助成事業、子ども・子育て支援事業制度の改正に伴うシステム改修事業の補正が主なもの。

平成29年度特別会計補正予算

会計名	歳入歳出補正額	補正後の総額
国民健康保険事業	23万円の追加	8億2,020万円
介護保険特別会計	29万円の追加	6億6,044万円

農業委員に同意（8名）

任期は平成29年7月20日から平成32年7月19日まで

- ◆甲斐幹男氏（東深角）
- ◆一水秀樹氏（長谷川）
- ◆羽賀春男氏（宮水）
- ◆矢通広信氏（新畑）
- ◆松中澄夫氏（鹿川）
- ◆甲斐栄喜氏（草仏）
- ◆松本貴美子氏（矢形の的）
- ◆河野學氏（河内）

行政報告

①日之影町役場の耐震診断の結果について

平成28年4月16日の熊本地震の強い揺れにより、災害応急の拠点となる庁舎が使えなくなる事態が発生しました。それを踏まえて本町の庁舎を耐震診断しましたところ、築60年が経過しコンクリートの強度が著しく低下しており崩壊の危険性が高いとの診断結果を得たところであります。この

結果を受け「庁舎建設検討委員会」を立ち上げ基本構想策定に取り組みんでまいります。
(町長)



《昭和31年に建設された庁舎》

報告

③平成28年度一般会計繰越明許費繰越計算書について

平成28年度から繰り越した事業は、総務費の「個人番号カード交付事業」農林水産事業費の「営農雑用水施設整備事業」他5事業、土木費の「道路新設改良事業」他2件、災害復旧の「農業施設災害復旧事業」他3事業で繰越額は2億548万円です。
(町長)



《「教育の日」4校合同による授業風景》

②平成28年度日之影町小・中学校の学

校評価ならびに教育委員会の事務事業の自己点検・評価について

平成20年度から、学校評価並びに教育委員会の事務事業の自己点検評価を行い、結果を公表する事が義務付けられた。本町の学校評価については自己評価、その結果を有識者評価の後に教育委員会へ報告されるものであります。

教育委員会においても事務事業の自己点検と評価を行い学識経験者の所見付した報告書が議会へ提出された。
(教育長)



《農地災害の復旧状況》

専決処分事項（補正予算7件 条例改正3件）

平成28年度一般会計補正予算（第7号）

補正額 1,814万円の減額
補正後総額 51億4,607万円



《一部修復された中川橋》



《熊本地震災で修復された中学校入口付近》

歳入の主なもの

◆町 税		944万円の追加
◆地方交付税		2億4,424万円の追加
◆県支出金	（農地災害復旧費補助金等）	698万円の追加
◆寄付金	（ふるさと応援寄付金等）	236万円の追加
◆繰入金	（財政町政基金繰入金等）	2億8,532万円の減額

歳出の主なもの

◆民生費	（後期高齢者医療制度負担金）	1,038万円の減額
	（国民健康保険事業特別会計繰出金）	1,058万円の減額
◆諸支出金	（公共施設等整備基金費等）	4,341万円の追加

平成28年度特別会計補正予算

	補正額	補正後の総額
◆病院事業	1,307万円の減額	6億2,769万円
◆国 保	2,399万円の減額	8億3,027万円
◆簡易水道	17万円の減額	7,784万円
◆奨学資金	233万円の減額	1,140万円
◆介護保険	2,168万円の減額	6億5,577万円
◆後期高齢	20万円の追加	5,480万円

専決処分とは？

・本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、町長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理することをいう。

条例改正（3件）

- 1、日之影町個人情報保護条例及び日之影町情報公開条例の一部を改正する条例
国の施策と地方公共団体の整合性を確保するため、関連する電磁的記録に関する事項について整備する必要があるため。
- 2、日之影町税条例の一部を改正する条例の主なもの
 - ・ 個人住民税の控除対象配偶者の定義の変更
 - ・ 肉用牛の売却による所得に係る課税の特例の3年間延長
 - ・ 軽自動車税のグリーン化特例の適用期限の2年間延長
- 3、日之影町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
世帯の均等割り額と平等割り額の軽減判定所得を5割軽減の対象となる世帯（26万5千円から27万円に引き上げ）2割軽減の対象となる世帯（48万円から49万円に引き上げ）

一般質問



飯干 静香
議員

《施設の管理について》



《旧中央保育所》

問 閉園となった中央保育園の建物の
今後はどうなるのか伺う。

町長 建物については、和宏福祉会の所有
物件で、活用や取り壊しについては、
検討中という事で、取り壊しの申し出は現
在のところ受けてない。

今後、施設の取り壊しについての相談があ
れば話を伺いたい。
土地については、借地であることから、民
営化後は町の方から和宏福祉会の方に助成し
ていたが、閉園後に助成を辞退する旨の届け
がなされた。

問 町の施設である中央児童プールは
どうなるのか伺う。

町長 保育所の利用がなくなり、維持管理
や安全管理面で問題が出てきた。水深
が浅く、消防水利としても活用出来ないこと
や、カエルの大量発生等の支障があることか
ら、平成29年度の予算でプールは撤去するこ
ととなった。

問 元独身寮の現状と今後の対策は。

町長 築後54年が経過し老朽化しているが、
現在入居者1名と、6世帯の方々が水
防事業の仮設住宅使用者の一時家財置き場
として使用している。
この施設があることにより、水防事業の
輪中堤の対象地域が下流域まで連続して建設
していただくことができた。

今後は、水防事業の対象施設となったこ
とと、仮設住宅の家財置き場となっているこ
とを考慮し、進捗状況を見ながら、県と協議
のうえ、取り壊す方向で検討したいと考えて
いる。

《環境問題について》

問 古紙類の資源ごみ（新聞、チラシ
類、雑誌、ダンボール等）回収・分
別について、集落毎に「もったいない運
動」の啓発と周知徹底を図り、更にごみ
を減らすための今後の取り組みについて
伺う。

町長 平成25・26年度にカレンダー・ポス
ター・冊子を各家庭、事業所に配布し
ている。

平成26年から28年度にかけて20箇所で説明会を開催している。今後もごみの回収・分別の周知徹底を図るよう啓発活動に努めていく。



甲斐 睦彦
議員



《元気良く、勇気を出して》

《地域の資源を生かした『地域活性化』の取り組みは。》

問 世界農業遺産登録認定から一年、各自治体に於いてもそれぞれの地域特性を生かした施策がなされていると考える、本町の施策を伺う。

町長 「高千穂郷・桂葉山地域が、世界農業遺産活性化協議会」

を設立し、県と5町村、農林業団体が連携して、様々な取り組みを行っているところである、本町としては「世界農業遺産認定」はもちろん「森林セラピーの認定」「ユネスコエコパーク認定」この世界ブランド力を連携させ、総務省の地域力アドバイザー制度により、外部専門家を招聘し本町独自の魅力と付加価値を向上していきたい。

問 長期総合計画に於ける当初の指数とかけ離れた数値もあり、KPIをチェックし実施計画に取り組みべきと考えるが町長の所見を伺う。

町長 KPIは業績を評価するに当たり、大変重要な指数と認識している。来年は中間年度であるので現状と課題を分析し、達成に向けた取り組みを行っていく。

問 「団塊の世代」大量退職時代に入り10年が経過した。本町においても、その存在を認める。本町にとつても大切な存在であり、これから大いに期待できると考えた時、社会増につなげる事から施策を考え取り組むべきと考えるが所見を伺う。

町長 昨年度より、同窓会応援事業を通じた呼びかけを行うと

同時に、「空家改修費の助成」や「新規就農者への奨励金」を交付しているところである。これからもUターン者の促進策が図られるよう広報活動や住環境の整備など支援策の強化・拡充を行っていく。

《地域の宝『子供支援』を伺う。》

問 平成26・1月に「子ども貧困対策推進法」が施行された。プライバシーの問題や実態調査の難しさが背景にはあると考えるが子供の将来が生まれ育った環境によって左右されないよう、必要な環境整備と教育の機会均等は図らなければならぬ。本町の現状と今後の方針を伺う。

教育長 社会全体が貧困に苦しむ子供たちから目をそらさずに、先ずはその存在を知ることが第一歩と考えている。本町に於いては「要保護児童等児童生徒の認定審査会」をえて就学支援の取り組みがある。今後の方針として、町民課との連携を図り子供の貧困問題の解消、教育の振興につなげていく。



河野 學
議員



《星山から見る八戸地区全景》

《八戸地区の再開発について》

問 八戸の町営住宅は、築55年から古いものでは60年たっているが、地震対策は大丈夫なのか伺う。

町長 八戸地区の町営住宅は、昭和32年以降に建てられ全てが老朽化している。ブロック造りの為、耐震の確認がとれない。今後は入居者の意向を尊重しながら、県と協議を重ねていきたい。

問 敷地が長年借地だが、効
率の悪い団地もある。町長
の考えを問う。

町長 建設当時4名の土地所有者
の方々から、貴重な土地を借
り受け、公営住宅を建設し、現在に
至っている。長屋造りのため、空き
部屋となった部分を解体する事も出
来ず。また、公営住宅であり、家賃
が所得に応じて決定されることなど
の入居者の事情と、日之影町公営住
宅等長寿命化計画を考慮しまして、
今後の活用法を含め、地権者の皆様
と協議を進めていく必要があると考
えております。

問 ブロック工場跡の広い空
き地があるが、民間の住宅
誘致の考えはないか伺う。

町長 民間資金を活用した住宅建
設は定住促進のみならず、町
の財政運営においても大変有効な手
段ですので、昨年度より実施してお
ります。日之影町民間賃貸住宅建設
促進事業補助金を広く広報し、民間
資金の活用を促しますが、民間での
建築では、土地の購入費用などの課
題があります。又、家賃の高騰が危
惧されます。建築の方法などを含め
て今後検討していきたい。

問 八戸いこいの広場を中心
としたマラソン大会を開催
する考えはないか伺う。

教育長 八戸地区の再開発の取り組
みの中で、公民館が主体とな
ったマラソン大会等の機運が高まれ
ば、そのサポートを行っていきたく
と考えていますが、教育委員会主催
のマラソン大会開催は考えておりま
せん。



甲斐 徳仁
議員



《現庁舎全景》

《新庁舎建設について》

問 熊本地震による庁舎被害
が相次ぎ、昨年耐震診断の
予算を組み、6月定例会初日に
ず結果として手立てはない。庁
舎建設検討委員会を立ち上げる
との事だが、今後の方針、建設
地等について伺う。

町長 庁舎は60年が経過し、経年
劣化の老朽化や耐震基準を満
たしておらず、防災拠点施設として
の役割を満たしておらず大きな問題
であり、この状況を踏まえ庁舎を取
り巻く様々な課題解決と、住民サー
ビス、行政向上を図るため新庁舎建
設を検討する。

今後は庁舎建設検討委員会を設置
し、基本構想、基本計画の策定を進
め、施設規模、機能性、位置等の整
理を行っていく。

問 国の補助制度は時限立法
で時間的余裕はないと思う
が所見を伺う。

町長 平成29年度〜32年度の4年
間が制度の有効期限である事
から、早急に基本構想を取りまとめ
る。

問 建設地の場所と住民アン
ケート等の検討について伺
う。

町長 これまでの近隣形成や今後
の近隣形成に影響をおよぼす
こと、また本町の地形上様々な制約
があるなかで、理想的な建設地の確
保は困難と思われる、様々な角度から
の検証が必要であり、町民との協議
や座談会、パブリックコメント等も
実施していきたいと考える。

問 庁舎建設の財源に付いて
平成28年度末で公共施設整
備基金が13億程保有している。
基金の活用を何割検討し、事業
費は概ねどの規模を試算して
いるか伺う。

町長 事業費については、基本設
計等が済んではつきりすると
考えるが、概算で10億円程度と考
えている。財源については、公共施設
等適正管理推進等事業債の市町村役
場機能緊急保全事業で9億、公共施
設等整備基金を1億と考えており、
本町の財政に大きな問題はないと考
えている。



総務文教常任委員会所管 事務調査報告

【調査実施日】
平成29年5月12日(金)

【調査場所】

しいの実保育園、日之影保育園、中央保育園跡地、第5部(八戸)消防機庫新設第12部(宮水)消防機庫新設

【調査項目】

1、しいの実保育園

高千穂からの地の利もあり、定員数を上回る状況で今後も増加傾向が予想されるが、施設の老朽化と耐震基準、建築基準の適合やスペース確保が問題である。教育については学習能力の向上に努力しており、保護者から評価も高い。課題としては老朽化に伴い安全安心な施設と用地の確保、更には病後児保育の対応と職員確保が急がれる。

2、日之影保育園

少子化等の社会環境の変化に伴い中央保育園と統合したが、若干の定員割れの状況が数年継続するとの予想である。環境は素晴らしく、高台に位置し問題は見受けられないが、施設の一部雨漏り対策が必要である。

3、中央保育園跡地について

民間移管し12年、法人努力を上回る社会情勢の変化により児童数が減少し、豪雨・地震等の自然の猛威の安全確保の観点から閉園を余儀なくされた。

駐車場も無く借地でもあり、今後の有効活用は期待出来ない。

今日迄の経緯や経過を考察する時に解体も選択肢の一つであるが、町としては応分の責務と負担は否めないと考える。

4、八戸消防機庫新設について
既存機庫横に併設する形で建設。土地も町所有で自動車ポンプも完全に収納され、地域消防のスキルアップも期待される。

前機庫詰所や備品庫として利用するが借地であり後世の為に取得が望ましい。
5、宮水消防機庫新設(旧町民グラウンドトイレ跡)
施設を有効利用しリニューアルした事は評価をしたい。有事の際の機動力についても期待される。機庫を中心に左右は災害時に於ける支援物資の保管庫に利用されて、徐々に備品整備が望ましいが、飲料水や食料品等に付いては換気扇も無く高温が危惧される。

飲料水等の保管は、併設する病院か保健センターが望ましい。



【日之影保育所園内】

経済建設常任委員会所管 事務調査報告書

【実施期日】

平成29年4月18日(火)

【調査事項】

1、観光振興策及び農林業振興について

旧仲組小校舎跡地を、宿泊施設また悪天候時にも対応できるようにトイレ・風呂・シャワーを整備し、広い集会所に人工的に色分けされたボルタリングの壁が設置され、室内スポーツとして活用できるようにになっている。野外スポーツとして、一躍この地がスポットとして取り上げられたことで愛好者が増えているが、延岡市や他にも適地があるということなので、他の地にも魅力のアピールすることが重要である。

魅力ある自然大岩が多く見られる場所であることから、安心安全に楽しんでもらうべく目的で遊歩道の設置工事も出来つつあるが、事故対策・安全策等については、町に問題が発生しないように愛好者との十分な協議が必要である。また、奥地の山の中腹に環境の良い所もあるので調査していただき、奥地開発事業の一環として今後の動向に注視したい。

2、キャンプ場(大菅)

5月連休には既に予約もあり、リニューアルした施設利用増に期待したい。施設等の維持管理では、古くなったパンガローの解体計画の早急な対応を望む。

植樹等をされる際は、バンガローなどとの景観も視野に入れながら、間隔など配慮すべきである。県道からも施設が見える様に杉を間伐して、更なるアピール対策を望む。

3、匠の里(下顔)

竹細工とわら細工が月1回程度の使用と、炭焼窯3基が現在も使用されていない状況であることから、

何らかの対策を考えていただき、利用度を増すことで、有効活用できるような施策を講ずることを望む。駐車場の利用促進を図る事で「匠の里」の活性化に繋がることを期待する。

4、中間土場(中村)

交通利便性の良い場所であることから、集材の搬入搬出がスムーズに出来るし、更に有効活用が図られるように期待したい。土場開設の要望があれば、本町林業振興の為に必要がある。

5、人口椎茸ほた場(追川)

平成23年度農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業を受け、追川生産組合として3人で設置をした。有害鳥獣にも悩まされることもなく、収穫増による所得向上に繋がる事業としての施設である。

生産者は、維持管理に努められ、他の見本となるように努力していただき、今後もこういった施設取得団体が更に増加することに期待したい。



【仲組公民館のボルタリング練習場】

意見交換会

本町の農林業の課題について語る!!

■JA日之影支所

〔出席者〕支所長、課長、理事、各部会長9名
 今回は、JA関係者との意見交換会をJA支所3階会議室で行いました。はじめに議会活動報告の後、出席者の皆さんから農林業振興について、様々な意見を頂きました。なかでも「農業法人アグリファーム」について、設立の経緯や方針・課題について、また本町の農林業に対する助成等については評価も頂きましたが、更なる要望や提言等の声もありましたので今後の議会運営に繁栄したいと思えます。ありがとうございました。



県の予算配分は、本町にどの様に反映されているのか!!

■西臼杵支庁

〔出席者〕支庁長、次長、課長、保健

所次長14名

西臼杵支庁・高千穂保健所との意見交換会は毎年1回開催しており、今回も福祉館にて行いました。はじめに、西臼杵管内の主要事業等資料に基づき業務概要・予算執行状況・事業計画について説明があり、質疑応答の形式で提案・要望等を致しました。



延岡町人会

6月17日土曜日、延岡地区町人会が開催されました。

100名程の延岡町人会員に加え、日之影町議会議員と町長以下職員、またユネスコエコパークの関係者が参加し、盛大に行われました。



祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク認定

(この宝の山にいかにかに光輝をあたえるか!!)



【ホルタリングの聖地の山梅の木峠】



【見立礫石の岩山】
れきがん



【九重折から見る傾山全景】
つら



【高山植物のミヤマツツジ】

議会傍聴のご案内

次回の定例会は9月です。皆様の傍聴をお待ちしております。また、議会に対するご意見等お聞かせ下さい。

♣お問い合わせ 議会事務局 ☎87-3908

編集後記

今年は、雨不足・水不足で田植えが例年になく遅れました。異常気象の影響で今後は大雨の心配も予想されますので十分に注意し準備をして下さい。さて、今年から新庁舎建替への準備もはじまります。町民の皆様の幅広いご意見をお聞かせ下さい。終わりに、いよいよ夏本番暑い日が続きます。熱中症等には十分に注意されお元気にお過ごし下さい。

河野 學



発行責任者

議長 杉本道生

議会報編集委員

委員長 一水輝明

副委員長 甲斐睦彦

委員 佐保満男

委員 河野學